

呼気VOC分析装置

～呼気で疾病のスクリーニング～

産業技術総合研究所 研究グループ長 申ウソク、主任研究員 伊藤敏雄
フィガロ技研株式会社

▶〈関連ページ〉37、39ページ

狙い 開発した呼気VOC分析装置試作機は、ガスクロマトグラフィー (GC) によるVOC成分の分離検知方式であるが、GC/MSのような分析機器にはない ○持ち運びが可能 ○キャリアガスに室内空気を浄化して使用するためガスボンベ不要 ○疾患マーカーの検知に特化したGCカラムを用い計測の短時間化、といった特徴を有し、専門知識が無くても簡便に使用が可能である。

用途 呼気ガス採取による非侵襲検査が可能で、結果は20～30分程度で出ることから簡便な検査もしくはスクリーニング用として定期的な医療検査や健康診断などでの活用。

また呼気VOC分析装置リスク判定ソフトを用いることで疾病のリスク判定の結果まで出すことが可能。

特長

- 呼気の成分から疾病の可能性を定量化し、スクリーニングするための技術。
- 大規模な分析装置を使わずに、生体ガス濃度を計測できるコンパクトで簡便な機器。
- 呼気ガス採取による非侵襲で検査が可能で、結果がその場が出る。

仕様

外 寸／W:240×H:310×D:510mm

重 量／約12kg

その他／電源:AC100V±10V 50/60Hz

消費電力:200VA以下

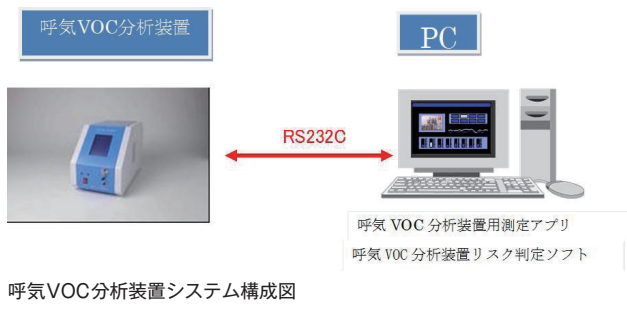
使用温湿度条件:15～35℃/85%RH 以下
(結露しないこと)



平成27年度試作品外観(前面)



平成27年度試作品外観(後面)



■お問い合わせ／国立研究開発法人 産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門 主任研究員 伊藤敏雄

e-mail : itoh-toshio@aist.go.jp 電話番号 : 052-736-7089 FAX : 052-736-7244

■特許の有無 : 無